

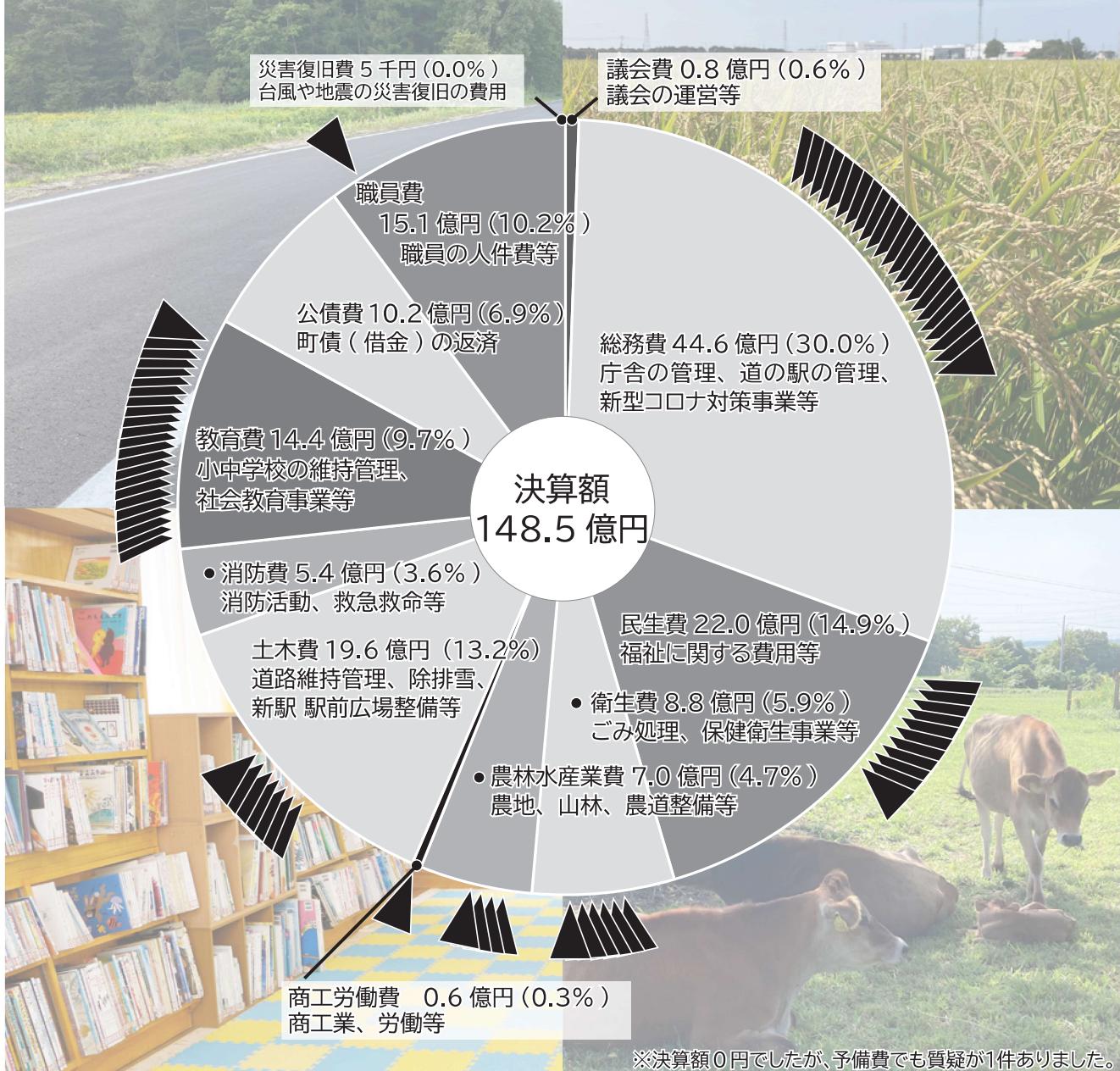


私達はここに注目しました！

令和4年度 各会計決算審査

一般会計歳出 ※一般的な行政にかかる経費の支出

▶ … 決算審査で各委員が質問したところ



『適正な決算と認定』～決算審査特別委員会報告～

令和4年度各会計決算審査特別委員会



決算審査特別委員会
インターネット動画配信



議会だよりに掲載していない
質疑の様子が見られます。

特集

より充実した図書館へ

決算審査で質疑の多かった「当別町図書館の運営」について特集
図書館司書の人材確保、図書館司書による学校図書館への指導・助
該当する教育委員会点検・評価を参考にまとめました。



有資格者が減った原因は

図書館司書・情報専門員報酬 468万円

問 図書館職員4名のうち、1名が司書資格を持っているとのことだが、以前はもう少し多かったのでは。元々1名ぐらいだったのか、職員が入れ替わって減ってしまったのか。

答 以前は全員が司書資格を持っていました。職員入れ替わりの際、資格保有者の応募がなかったのが実態。現在は図書館運営に支障がないように、職員が研修等を受けて、チームで運営を進めている。



図書館に優秀な人材を

図書館司書・情報専門員報酬 468万円

問 以前、優秀な人材を集めるには非常勤も有効との話があったが、令和4年度は司書資格保有者の確保に苦労していると見受けられる。雇用方法を見直すなどの検討をしているのか。

答 短時間やフルタイムなど、勤務体系については検討していきたい考え。資格の有無は大きいが、ベテランスタッフが働き続けてもらうことも、図書館運営にとって非常に有益だと考えている。



当別町図書館内部

点検項目	図書館機能の充実
4年度達成目標	貸出図書数前年比10%
具体的取組	1 子ども読書活動推進 2 学校図書館への指導 3 主催事業の企画立てる 4 町図書館運営の活性化
目標の達成状況	達成に向けて進展がある
自己評価	1 ブックスタート（学1年生）での絵本により、子どもの読み聞かせが広がる。 2 司書を学校図書館づくり、おすすめ本紹介、継続的学校図書館の活用。 3 図書館祭りやライブラリーフェスティバル、新型コロナの影響に子ども達から作品を行う予定である。 4 利用者からリクエストの選書と蔵書の充実などを行い、貸出回数を増加させている。
事業実施 決算額／予算額	・図書館司書、図書館情報 ・クラウド型図書館サービス
担当	教育委員会社会教育課

※当別町教育委員会点検・評価報告書



～司書の人材確保と働き方～

を組みました。
言について質疑が多くありました。

%増	
進	
導・助言	←
案	
らなる充実	←
った	
10か月検診)、ブックセカンド(小のプレゼントや、うちどく通信の発行書活動を推進している。	
へ派遣し、図書整理や、装飾、POPの展示などの支援を行っている。引き性化に努める。	
ブラリーコンサートを計画していたが、より中止した。POPコンテストは、募集しており、今後審査や作品展示を	
ストを取るなどニーズを捉えた購入図実、一定期間テーマを設けた企画展示書数の増加をはじめ、図書館の利用促	
報専門員報酬 468万円／503万円 サービス利用料 115万円／115万円	
(令和4年11月)より一部抜粋し作成。	



学校図書館への助言は

図書館司書・情報専門員報酬 468万円



令和4年度教育行政執行方針で、学校図書館活性化のために図書館司書による指導・助言を行う方針だったと思うが、学校図書の購入に当たり、図書館司書による指導・助言は行ったのか。



学校図書の購入に関して、図書館司書が指導・助言は行っていない。学校支援としては、図書整備や排架、ポップ作成等があるが、あくまで学校主導のため司書教諭の要望に応じて行っている。



蔵書検索システムのデータ

クラウド型図書館サービス利用料 115万円



蔵書検索システムの書誌データは職員が手入力しているとのことだが、コードを読み込んで入力するシステムもあるのではないか。今のシステムではそのような利用はできないのか。



大きい図書館ならば、書誌データは月額数万円で購入しているが、町図書館では、規模、蔵書数、書籍購入費等から、書誌データ購入まではできない状況のため、職員が手入力している。



本と出会う機会の確保を

クラウド型図書館サービス利用料 115万円



データも無料ではないので理解するが、蔵書検索は本に出会う入口であり、情報が表示されないことがあると、市民が本に出会う機会に影響を与えかねない。市民から意見等は出でないか。



特段、蔵書検索について意見は伺っていないが、ここ数年は、内容等まで図書館司書が入力して、多くの方が使いやすいサービスに取り組んでいる。今後も引き続き努めていきたい。



より良い地域公共交通を



ふれあいバスの朝の混雑

当別町公共交通活性化協議会負担金 3,379 万円

問 医療大学生の利用が多く、特に朝の当別駅発は一度では乗り切れない。JRなど他の手段もあるが、公共交通活性化協議会では、この朝の混雑へ何らかの対策を検討しているのか。



令和5年4月からダイヤを一部改正し、朝の登校時間帯の便を1便から2便へ増便した。今後の経過を見て、さらに対応が必要となれば検討する。



フリー乗降区間の差

月形当別線運行事業補助金 1,850 万円



月形当別線とふれあいバスは金沢中小屋地区で、同じ道を通っているが、フリー乗降区間が異なる。何か問題が起きたり、意見が出たりはしていないか。区間を揃える検討はしていないのか。



問題や意見は出ていない。月形当別線のルート設定の際、町道金沢線でのフリー乗降の要望はあったが、国道275号での要望はなかったため異なっている。ニーズがあれば今後検討したい。



ふれあいバスのバス停に並ぶ列（当別駅前）

デジタルと地域経済



キャッシュレスで消費者還元

キャッシュレス消費者還元事業 2,000 万円



キャッシュレス消費者還元事業は、令和4年度、令和5年度と実施しているが、令和4年度はどのような成果が出たのか。



実施期間中の売り上げが、実施期間前に比べ200%増えたとの報告もあったため、当然、町内の売り上げ自体も伸びたと受け止めており、効果はあったと考えている。

地理情報システム 導入効果は



固定資産GISの導入効果

固定資産 GIS 構築事業 3,600 万円

問 固定資産税業務へのGIS導入について、現地調査の負担軽減など、行政コスト削減はどれくらい実現できたのか。

答 令和5年度が導入初年度のため定量的な評価に

は至っていないが、今まで地図、紙台帳、現況を照らしながら行っていたものが、事前に情報を取得して、現地ではタブレットを利用するなど、システム導入により効率的に実施できていると認識している。



オープンデータ化は

固定資産 GIS 構築事業 3,600 万円



導入されたGISに使われている地理情報について、オープンデータ化の検討状況は。



地理情報の公開により、住民や事業者にメリットがあるならば、オープ

ンデータ化を検討しなければならないと認識。しかし、今回構築したシステムのデータは、住民のプライバシー情報も多く含まれるため、直接オープンデータとして扱うことはそぐわないと考えている。

子育てしやすい町を目指して



保育士確保はまだ必要か

保育士等就労支援事業 1,966 万円

問 保育士等就労支援で一定の成果が上がっており、令和4年度は待機児童がいなかったことだが、町内の認定こども園の保育環境を考えると、保育士の確保はまだ必要なのか。



待機児童はゼロであるが、太美地区の人口増加に伴い子どもの数が増えており、保育士確保はまだまだ必要と考えている。町内の認定こども園にも保育士確保について促している。



産後ケアの対象拡大は

産後ケア事業 53万円

問 以前にも、生後4か月以降も産後ケアが必要ではないかと議論したが、現在の利用実績を見ると、それほど沢山ある状態ではないように思う。少し対象を拡大するなどの検討はしているのか。



訪問型も宿泊型も生後4か月までとし、令和4年度から運用しているが、4か月以降も支援が必要な方がいることを踏まえ、令和5年度から、訪問型に限り生後1年まで使えるようにした。

閉校後のグランドピアノは



旧当別中学校から移設したピアノ



旧当別中のグランドピアノ

一体型義務教育学校建設事業 7億 4,754 万円

問 旧当別中のグランドピアノを処分したことだが、買い取りなどの調査はしたのか。調律が必要かもしれないが、方法によってはいろいろと活用できると考える。その辺りは調査したのか。



業者に確認したところ、非常に古く改修できないとのことだったため、やむを得ず処分した。

少しだけ補足… 処分した2台のグランドピアノは、昭和30年代製で60数年が経過。状態や年式から修理が不可能とのことでした。使用可能な1台のみ、とうべつ学園へ移設しました。

町の農業を次世代に



農業の担い手確保は

担い手確保推進事業 559 万円

問 町の地域おこし協力隊として、農業支援員2名が活動しているが、農業の事業承継のめどは。

を考えている農業者等とマッチングを行っている。任用期間中にマッチング先で栽培技術や経営の知識を習得し、円滑に就農できるように準備を進めている。現在は順調に進んでいると認識している。



農業支援員については、任用期間後も町に定着できるように、事業承継



農作業の様子



「当別モデル」除排雪の効果



太美雪堆雪場の効果

町道除排雪事業 6億 3,172 万円



令和4年度に太美雪堆雪場を開設したが、どのような効果があったか。



令和3年度に比べ、ダンプが雪を運んで戻るまでの時間が29分から11分に、使うダンプが10

台から5台に、町内会の排雪日数が11日間から8日間にといった効果があった。苦情は、振動に対するものが1件あった。振動は敷き鉄板の撤去時に生じるもののが大きいため、今後作業に十分留意していきたい。

収入を増やす努力も



税収をコロナ前に

町民税 8億 5,882 万円

問 個人・法人町民税など町税収入額が、コロナ前の金額に戻っていないが、何故まだ戻らないか分析はしているか。

答 コロナ前の平成30年に比べ、個人町民税は

大きな増減がなく、コロナの影響はあまり出ていないが、法人町民税は1.6億円減っており、原因の分析が必要と考えている。業種別では製造業において大きく目減りしているが、コロナが要因であるかは不明である。



町営住宅の賃貸収入を

住宅使用料 4,563 万円

問 町営住宅の入居率が6割のことだが、入居できない人がいるのか、単に空いているだけなのか。有効利用して賃貸収入が得られるように努めてほしい。今後どのように対応するのか。

答 老朽化の激しい未広団地などは、令和6年度に解体予定のため、新規受付はしていない。他の団地も老朽化が進んでいるため、修繕を順次進めて、入居率を高めていきたいと考えている。

税の公平性を欠かないように



都市計画税の見直しは

都市計画税 6,078 万円

問 賦課区域の町民から理解を得られるか、公平性を欠かないかなどは以前から指摘しているが、令和4年度の協議はどうだったのか。区域見直しについての状況は。

答 用途地域を対象にしているが、区域の見直しは検討している。令和4年度、手続きを行ったものはないが、今、対象地域ではない町内会と意見交換等を行っているので、協議を続けていきたい。



介護サービス 収支不足の原因



登録者が増えても利用減

歳入不足額 3,483 万円



訪問介護、通所介護とともに、令和3年度に比べ利用登録者数が増えているにも関わらず、収入が減っている要因は。

利用登録者数と利用回数、利用者の介護度によ

り収支が大きく変わるため、利用者の増が収入の増となるわけではない。利用登録者は増えたが、1日当たりの平均利用者が減っているため、収入減という状況になっている。



デイサービスの送迎の様子



内容の充実や魅力発信

歳入不足額 3,483 万円



コロナ禍を経て、どの事業所も利用者獲得や経営改善に苦慮しているが、他事業所にはない魅力発信など、一層の努力が必要ではないか。委託先の社会福祉協議会と協議検討しているか。



利用者の増加については、毎年協議している。利用者サービスが適正かどうか等についても、ケアマネージャー等を含めて総合的に協議を行い、利用者増加や内容の充実を図っている。



指定変更で抜本的見直しを

歳入不足額 3,483 万円



4年連続で歳入不足が生じていることから、27名定員の通所介護事業を、定員18名以下の地域密着型通所介護事業に指定変更するなど、改善に向けて抜本的な見直しが必要ではないか。



事業者へヒアリングを行い、定員増に対応できる話も一部聞いているが、事業所によっては人材確保が難しい状況もある。町としては訪問も通所も赤字であるため、総合的に判断していくたい。



町営で続けられるか

歳入不足額 3,483 万円



訪問介護はセーフティネット的にやらなければならない面があるが、通所介護は町営で続けるかしっかりとした検討が必要では。状況を見ながらのことだが、もはやその猶予はないのでは。



休廃止や定員減も含めて総合的に検討する。通所介護では、1事業所の休止に伴い、町の通所介護利用者が1日当たり約4名増となつたため、収支は改善すると思うが、検討は引き続き行う。



切迫感を持って収支不足解消を

歳入不足額 3,483 万円



議会もいつまでも繰上充用を認定するのは難しい。5期連続で繰上充用には絶対なってはならない感覚であり、監査委員の意見も具体的である。切迫感を持って検討する必要があるのでは。



赤字続きが良いとは思っていないが、事業者へ移すことで事業者の負担が増え、継続が困難になる場合もあるため、総合的に判断していくたい。今後の状況は議会や事業者に説明していく。